

## NPO 国際社会人剣道クラブ

### 2015 ハンガリー・オーストリア国際親善交流

2015 9 16 ～ 9 24

#### 参加者

湯村正仁（73 範八 中国）、千葉十一（72 教八 近畿）、野口慎一郎（67 教八 九州）、  
前野頼彦（75 教七 近畿）、井上一久（68 教七 東海）、向後昭雄（59 教七 関東）、  
守本佳了（60 教七 中国）、久保達也（61 錬六 近畿）、志知照子（三 東海）  
会員外：沼田勝意、高柳繁、小島勝義、小川好史、千崎武司、川尻定兼、中江喜三郎、  
千葉夫人、野口夫人、前野夫人、守本夫人、久保夫人 以上 21 名



9月16日（水）

成田、中部、関空発 フィンランド航空 ヘルシンキ空港にて全員集合 ハンガリーの首都ブダペストへ  
ホテル：Hotel Queen Mary-Budapest

ハンガリーはヨーロッパのほぼ中央に位置し、日本の約 1/4 の国土、人口約 1,000 万人、中央部をドナウ川が流れる山、川、平原、湖と自然豊かな国。ハンガリー人のルーツはウラル山麓のふもとに住んでいたマジャール人で遊牧生活しながら西へ移動し、現在地へ住み着いた。900年ごろハンガリー国誕生。その後モンゴル、オスマン帝国、ハプスブルグ帝国、プロイセン帝国の支配を受ける。1920 ハンガリー王国誕生したが、ドイツによる占領、ソ連支配。1980年代のペレストロイカを経て2012年国名「ハンガリー」となった。  
通貨：フォリント、言語：ハンガリー語、北海道と同じ緯度

ハンガリーからオーストリアの経路はシリア難民のドイツへのルートになっているため、治安を心配したが全くの杞憂であった。ニュースで取り上げられた東駅近くまで行って見たがそれらしい様子は見えなかった。

9月17日(木)

朝 8:00 ホテル発 ベンツの大型バス、優秀な日本語ガイド付き

午前：ブダ、ドナウ川をはさんで西側の丘陵地区、王宮や漁夫の砦といわれる、まるで西洋のおとぎ話に出てくるお城のような景観。映画の舞台となることが多いという。昼食は国会議事堂近くのレストラン、アレンジされたハンガリー料理が素晴らしい。

午後：ペスト地区 パリのシャンゼリゼより 500m 長いというマロニエの並木道。気温は 33℃。今年は異常高温、少雨でドナウクルーズも航行不能との事。その分今日も上 天気で「美しく青きドナウ」そのもの。ハンガリーへの機中隣り合わせたご婦人グループはハンガリーの美しさに何度も来ているとのこと、今回も 2 週間の日程と！



Pm6:00 ホテル発 徒歩 10 分 学校の小さな体育館

ZSOLT VADADI 剣道連盟会長、阿部哲史、日本人商社マン 2 名他約 50 名 世界大会男子団体 3 位のメンバーの参加を期待していたが遠くの地に住むため 1 名のみ。

1 時間基本稽古繰り返し、打ち込み、体当たりを日本の会員が元立ちとして受ける。受ける方も懸る方もへとへとになる。剣道具未着用も 30 人は井上教士の指導で楽しく基本を習っていた。約 1 時間の指導稽古では世界大会 3 位の国を疑わせる内容であった。



阿部哲史教士七段 国際武道大学出身 当地に来て 15 年ハンガリーの指導にあたる。昨年八段一次試験合格。海外、特にヨーロッパの剣道事情に詳しい。多数の著作をいただいたことは今回の最大の収穫であった。当地に来て田舎の小さな町に 6~7 人の子供たちが箒の柄などで作った棒を振り回して剣道をしていた。指導者は実際習ったことのない剣道を勉強して教えていたのだが、2 組しかない剣道具をつけてやらせてみると驚くほど素晴らしい剣道を見せてくれたとのこと。彼らが世界大会連続 3 位の原動力となっている。この体験談を読むと、子供の指導のあり方を考えざるを得ない。今では剣道人口 500 人を数えるという。



終了後ホテルに帰りシャワーを浴びた後、夕食へ。軽くピザのみ。0 時ホテル帰着。

9月18日（金）9:30 バスにてオーストリアグラーツへ出発 ほぼ中間点にある Balaton 湖にて昼食  
午後 3:30 Graz 着

合宿所：JUFA Furstenfield Sport Resort 56€/1人/3食 過去のオーストリアセミナーは国内どこに行ってもこのような宿泊施設を併設した体育施設がある



セミナー参加者 33名 8名は世界大会出場者  
六段1、五段2、四段4、三段6、二段3、初段4、以下級 pm6:00 夕食  
pm8:00~9:00 稽古 日本人同士 3分、2回  
その後セミナー参加者と稽古 初心者4名は井上先指導



9月19日(土) 朝少雨 am6:30~7:30 朝稽古 am8:00 朝食

am9:30~12:30

4組に分ける 分類は村上君にまかせる 必ずしも段別でない

- |   |               |                 |
|---|---------------|-----------------|
| A | : 千葉、千崎、守本、向後 | 基本から応じ技まで       |
| B | : 野口、小川、小島    | 竹刀による基本技稽古法     |
| C | : 高柳、久保       | 基本打ち            |
| D | : 井上、川尻、中江、志知 | 足さばき、素振りから応じ技まで |

Pm:2:30~5:30

- |     |           |                 |
|-----|-----------|-----------------|
| A+B | : 向後 二刀対策 | しっかり準備してきている    |
| C+D | : 井上      | 基本から応じ技まで 稽古1時間 |

9月20日(日) 朝稽古

午前 : A+B : 追い込 野口 稽古40分

午後 : 日本剣道形 剣道型と遅速 1~3本目の理合い 子供たちは最後、風船割りを楽しんでいた。

稽古1時間

Pm5:30 終了

夕食後、バーカウンターでビール、ワイン(いずれもオーストリア持ち)



9月21日(月) 快晴

7:00 朝食

9:00 出発 大型バス 観光



BurgRiegersburg オスマントルコとの戦いの最前線  
合宿食から離れて久しぶりの美味しい食事でありついた。



Pm4:30 ウイーンホテル着 Hotel Boltzmann

ウイーン大学に近く以前2度宿泊している。バスもあり設備が充実している。ウイーン剣連会長、HAUCK ヨーロッパ剣道連盟副会長の出迎えを受ける。

少年指導の要請があり、井上、前野、向後、高柳、湯村は音楽学校へ。

5~13歳8名の少年少女の指導。2時間

他のメンバーは遊園地へ。



Pm9:00 合流 遊園地のレストランであれば肉を食べる。



Am0:00 ホテル帰着



9月22日(火) 朝食後各自観光

小生はこの日は休日としている。美術史博物館まで散歩。

Pm4:30 ホテル発 ドナウ川対岸の体育館へ。バスケット用の床? 硬い。ウイーン剣連との交流稽古  
オーストリアのメンバーは少数精鋭? 約10名。その分日本のメンバー同士の稽古ができた。

大学レストランにてさよならパーティー、

前野氏へ感謝の3拍子、向後氏の英語によるスピーチ、志知さんのスピーチ、千葉市のスピーチは好評。

9月23日(水)

Am7:40 ホテル発 ウイーン空港 ヘルシンキ空港を経由して帰路につく。

9月24日(木)

午後2時鳥取着

今回も半分の同行者が初参加であった。会員の実力はある程度把握できているが、会員外はわからない。指導配分は力を見ながら、修正していくことになる。今回も最初は戸惑った。セミナー参加者のクラス分けを村上君に任せたが段数は関係なく実力で分けたことがかえって良かったようだ。今後もそのようにしよう。今回からオーストリア剣道連盟の支援が受けられることとなったと聞いている。具体的な支援は見えなかった。井上先生の少年指導は大変好評であった。ウイーンの少年指導を要請されたが、セミナーに統一してほしい。今回は二刀の要請に対して向後氏が答えてくれた。わかりやすく英語の資料を配布する努力に敬意を表す。来年は上段対策を要請されている。オーストリアにおけるセミナー参加者が減少している。今年は世界大会の影響があるのかもしれない。

負傷者が2名出た。いずれも軽傷であるが内容が厳しすぎたか？ 今回も同行していただいたご婦人方に大変なご協力をいただきました。全員無事帰国できたことを喜んでいます。